

平成 28 年度
横浜市立高等学校
学校関係者評価書

対象校：横浜市立桜丘高等学校

調査全体の日程

調査日：平成29年 3月 13日 ~ 3月 23日

調査対象校：横浜市立桜丘高等学校

調査チーム：横浜市立桜丘高等学校学校評議委員会

リーダー：中島良一先生（横浜市立岩崎中学校学校長）

記録等担当者：横浜市立桜丘高等学校学校評議委員会

1 第2期横浜市教育振興基本計画の推進状況

魅力ある高校教育の推進状況について

- ・進学指導重点校として、生徒の進路実現のために授業改善の取り組みが行われていることは評価に値する。
- ・校是である文武両道を目指し、学習面のみならず、部活動、学校行事などにも力をいれており、生徒にとって魅力のある高校である。

2 教育活動の状況

教科指導の状況について

- ・国語の取り組みに大変関心を持った。正しい日本語や国語力をつけないと海外で通訳してもらえないこともある。
- ・これからグローバルな活躍が望まれる中で、行く国の歴史や文化を知るとはとても大切だ。引き続き英語や歴史の教育に力を入れていていただきたい。
- ・29年度から英会話学校の講座が土曜に開かれるとのことで、大変楽しみである。

進路指導の状況について

- ・高大連携で1年生が3月に来校し授業を受けてくれたが、とても熱心に取り組み有意義な時間であった。29年度は入学者が大幅に増加するとのことで、大変喜ばしい。
- ・英検等の資格を取った生徒の人数を公表してもらえたら、他の在校生の刺激や励みにもなって良いと思う。

3 学校経営の状況

組織運営及び教職員研修の状況について

- ・各分掌とも、ベテラン職員が中心となって効率的に業務をこなし、円滑な組織運営が行われている。
- ・中堅職員が積極的に若手に声をかけ、教科指導、学校運営等についての自主的な研修会が年に数回行われていることは、非常に有意義な取り組みと言える。

保護者・地域等との連携の状況について

- ・PTA活動が活発に行われ、役員も100名を越しているのは、先生方のご協力のもとに楽しく活動できているからだと思う。
- ・道路を広がって歩いているとの苦情が寄せられているらしいが、もともと道が狭いので致し方ない部分があると思われる。毎日桜丘高校前を通るが、生徒のマナーが悪いとはさほど思わない。
- ・桜丘高校のように県立公園を連携の場で利用してくれる学校は他には無い。公園は学校や地域との連携でより魅力的なものになるのでどんどん利用していただきたい。連携を通して教育活動に協力できるのはありがたいと思う。
- ・保護者として、HPの情報がもっと頻繁に更新がされたらよいと思う。